

Atos、Apstra Data Center Director でデータセンターの成功に向けた計画を作成



Atos のビジネスプランのコアにあるのは IT サービスです。デジタル変革のグローバルリーダーとして、持続可能で安全かつセキュアな情報サービスを有する Atos は、デジタルサービスとコンサルティングを提供しています。Atos は 71 か国にお客様を擁しており、ユニファイドコミュニケーション、クラウド、ビッグデータ、サイバーセキュリティ、IoT、トランザクションサービスを提供しています。

本社はフランスのパリ郊外にあり、10 万 5 千人を超える従業員を抱えており、複数の業界にカスタマイズされたエンドツーエンドのソリューションを提供しています。Atos は、ヨーロッパ全域でトップクラスのマネージドサイバーセキュリティサービスであることを自負しており、同社が参入している他の IT サービス分野でも市場シェアを獲得することを目標としています。

概要

会社情報	Atos
業界	テクノロジー
使用製品	QFX5210, QFX5120, EX4400, SRX シリーズ
地域	EMEA

お客様企業の導入事例の概要

110 億ユーロ

年間収益

64

データセンター

No.1

ヨーロッパでマネージドサイバーセキュリティサービスを提供するプロバイダー

課題

最新のクラウドファースト環境での運用

Atos のグローバルな顧客ベースは、トラブルのないデータセンターサービスを求めています。顧客のビジネスクリティカルなアプリケーションに中断があってはならず、アプリケーションのパフォーマンスが悪化した場合は、問題を早急に特定して修正する必要があります。

「当社のデータセンターは、年中無休で 24 時間体制で稼働する必要があります。運用上の問題が発生すると、その情報が常に入りま」と Atos のインフラストラクチャ担当 CTO であるリー・ライト氏は述べています。

数年前に、Atos はより最新のスパイン&リーフ型アーキテクチャへと移行し、EVPN IP ファブリックを拡張して導入することで、カスタマーサービスの信頼性と柔軟性を向上させました。新しいスイッチと EVPN テクノロジーを本番環境へと移行する作業は困難なものでした。



「他のソリューションを試し、構成を標準化するために手作業でプレイブックを作成しました」と、リー氏は述べています。「構成が安定しないことが大きな課題となり、標準 DC LAN の構築では制御や規制が困難でした。非標準の構築は、運用リスクとコストを増大させます」

さらに、可視性の欠如の問題もありました。ネットワークエンジニアは、ダウンしているのはリンクレイヤーなのか、それともアクセスレイヤーなのか、あるいはスイッチに設定ミスがないかどうかを確認することができませんでした。総合的に見て、データセンターの運用には課題がありました。Atos では、急速に成長する EVPN ネットワークファブリックをより適切に管理することができる自動化ソリューションを必要としていました。

ソリューション

インテントベースネットワーク構築でインテリジェンス、自動化、可視性を実現

Day 0 から Day 2 までの運用に必要な複数の要件を満たすため、同社の 21 か所のデータセンターには Apstra インテントベースソフトウェアが導入されました。このソフトウェアにより、すべてのデータセンターのスイッチの設計、導入、運用が自動化され、検証されます。

データセンターファブリックの構成は、スパインが Juniper QFX5210 と QFX5120 スイッチ、ボーダーが QFX5100 スイッチ、リーフノードが QFX5120 と Juniper EX4400 スイッチになりました。境界を保護するのは SRX ファイアウォールです。PTX10001、MX204、MX10008 ルーターが、DC と外部との接続を担います。データセンターには他のベンダーのスイッチも配置されていますが、Apstra であればマルチベンダー環境も簡単に管理できます。

成果

データセンターファブリックを変革

Juniper Apstra は、Atos の 12 か所のデータセンターで Day 0 から Day 2 までの運用をカバーするオールスター製品であり、新しいデバイスを迅速かつエラーなく展開できるようにネットワークエンジニアをサポートしています。Atos では、Apstra で標準化された設計図を使用して、今後 3 年以内に Atos のデータセンター LAN をアップグレードする計画を立てています。

また、Apstra は、アップグレードや新しいサービスの展開を行うエンジニアもサポートします。「Apstraのおかげで、自信を持ってその場で変更することができるようになり、より柔軟にアクションをとることができるようになりました」とリー氏は述べています。「ライフサイクル管理も組み込まれているため、サービスの停止を懸念することなく、新しい要素を導入することができ、必要があれば構成をロールバックすることもできます」

問題が表面化すると、問題を診断できるように Apstra からエンジニアに可視性が提供されます。「Apstra から豊富なテレメトリデータを得られるため、アプリケーションのパフォーマンス問題を簡単に特定して解決することができます」と、リー氏は述べています。「Apstra のテレメトリデータを見れば、問題が生じているのはデバイス、アプリケーション、またはネットワークのどれなのかが分かります」エンジニアはリンクがダウンしているのか、それともケーブルの構成が間違っているのかを確認して、問題の解決に取り掛かることもできるとリー氏は付け加えます。

Apstra は、特に経験の浅いエンジニアにとって有益です。Apstra のトラブルシューティングツールと診断ダッシュボードを使用することで、経験の浅いエンジニアでも、新しいインフラストラクチャの展開やネットワークファブリック管理の両方において、担当できる作業が広がります。

「Apstra は、さまざまなスキルとエクスペリエンスを持つ運用チームに新しいメンバーをオンボードするのに役立ちます。当社にとって最も重要なビジネスソリューションの 1 つです」とリー氏は述べています。

「Apstra の管理下にあるスイッチが何なのかは関係ありません。ファブリック管理は常に一貫しており、当社の事業にとって非常に心強い存在です」

リー・ライト氏
Atos のインフラストラクチャ担当 CTO

Corporate and Sales Headquarters

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA

**電話番号 : 888.JUNIPER
(888.586.4737)**

または+1.408.745.2000

www.juniper.net

APAC and EMEA Headquarters

Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240 1119 PZ Schiphol-
Rijk

Amsterdam, The Netherlands

電話番号 : +31.207.125.700



Copyright 2024 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks、Juniper Networks ロゴ、Juniper、Junos は、米国およびその他の国における Juniper Networks, Inc. の登録商標です。その他すべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に帰属します。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合でも、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。